

川 根 本 町

2025年6月号

図 書 室 だ よ り

6月

- ・文化会館図書室(小長井)
- ・山村開発センター図書室(上長尾)
- ・移動図書館車やまびこ号: 川根本町内6コース
- TEL: 0547-59-3106(文化会館)
- TEL: 0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間: 午前9時～午後5時
- ☆ 休室日: 月曜日・第3日曜日(15日)
- ☆ やまびこ号巡回6コース



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。



川根本町
インターネット
図書室
ホームページ



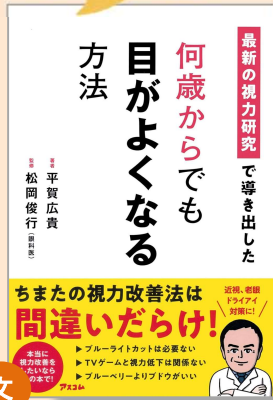
図書だより
Facebook

新着 図書



「川根本町インターネット図書室」では
新刊の詳しい情報や 蔵書の検索が可能です。

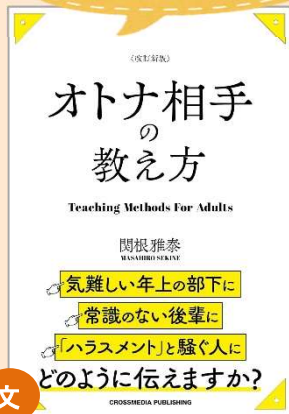
あなたに合った 視力改善法はなにか



文

平賀広貴 著
アスコム

あなたの教える スキルは見違える!



文

関根雅泰 著
クロスメディア
パブリッシング

春と秋の恒例の草刈りが、 じつは無駄だった?!



山

農山漁村文化協会 編
農山漁村文化協会

面倒なお弁当作りを パターン化で救済!



山

藤井恵 著
Gakken

※所蔵状況 文 文化会館図書室 山 山村開発センター図書室

今月の特集

【5月・6月山村開発センターにて開催】

新緑と共に 食の楽しさ広がる

新緑の季節に合わせて、旬な食材や自然の恵みを使ったレシピや食文化に焦点を当てた本を集めてみました。



- ・日本全国高速道路SA&PA 感動のグルメ対決!
- ・日本ご当地チェーン大全
- ・食文化入門 百問百答
- ・藤井食堂の体にいい定食ごはん
- ・めんの本
- ・ザ・給食 学校給食のすべてがわかる!
- ・あした話したくなる おいしいすぎる食べ物のひみつ
- ・おとなのゼリー あたらしい食感を味わう
- ・おちゃのえほん

◎ 新着図書

「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>● 『ユビキタス』 鈴木光司 著 KADOKAWA</p> <p>原因不明の連続突然死事件を調べる探偵の前沢恵子は、かつて新興宗教団体内で起きた出来事との奇妙な共通点を発見する。恵子と異端の物理学者・露木真也は「ヴォイニッチ・マニユスクリプト」と事件との関連性に気づく。だがそのとき、東京やその近郊では多くの住民の命が奪われはじめていた――。</p>	<p>● 『織部の妻』 諸田玲子香 著 KADOKAWA</p> <p>古田織部との政略結婚をした戦国武将・中川清秀の妹、仙。二人は信長、秀吉、家康とめまぐるしく変遷する戦国の世を駆け抜けながら、共通する志を抱く夫婦となってゆく。二人が命と引き換えにしても守りたかったものとは――。</p>
<p>● 『灯火』 本城雅人 著 祥伝社</p> <p>落馬事故が因でジョッキーを引退した河口八宏。失意のなか選んだセカンドキャリアは、現役ジョッキーに代わって騎乗馬を探すエージェントの仕事だった。最低限のアドバイスしか施さずとも、担当する松木と郡司がGIで1、2着を独占するほどの大躍進を遂げた。ところがその矢先、思いがけない事態に直面する――。</p>	<p>● 『春立つ風』 あさのあつこ 著 光文社</p> <p>油屋「出羽屋」の離れで放蕩息子・一郎太が喉を突き、自ら命を絶った。ただの自死ではないようで、主の忠左衛門と後添えのお栄に、同心・木暮信次郎は話を聞くが…。</p>
<p>● 『マリコにもほどがある!』 林真理子 著 文藝春秋</p> <p>勤め人となり2年半。今年古希を迎えるマリコはやっぱり忙しい。「あくせく働くのはやめようか、年金をもらってなんとか暮らしていくか。」誕生日を前に、マリコの心は千々に乱れる。</p>	<p>● 『百一歳。終着駅のその先へ』 佐藤愛子 著 中央公論新社</p> <p>スーパーでの買い物から、小室眞子さんの結婚、兄サトウハチローの思い出、そしてたびたびの断筆宣言を覆して書き続けた日々……。変わらない歯切れよさで、世相と日常を語り尽くす。愛子センセイの最新の肉声から伝わる、今の思いとは？</p>
<p>● 『へんしんする家のひみつ 和室はふしぎ』 上西明 監修・文 三浦慎 絵 ほんぷ出版</p> <p>農家の家と町家の家。和室の家の特徴である「変身する和室」の秘密を紹介する。</p> 	<p>● 『くらげのパポちゃん』 かこさとし 文 中島加名 絵 講談社</p> <p>祖父・かこさとしから、孫・中島加名へ受け継がれた平和への想い。没後見つかった未発表の原稿を絵本化。</p> 

おすすめ図書

『世界の一流は「休日」に何をしているのか』

越川慎司 作
クロスメディア・パブリッシング

「休み方改革」が人生を変える



皆さんは、どのように休日を過ごしていますか？
ちなみに、厚生労働白書(26年版)によれば、日本人の休日の過ごし方のトップ3は…

- ① 何となくスマホを見て過ごす
- ② 動画やテレビを見て過ごす
- ③ 何もせずにゴロ寝ですごす

—との事です。

私自身も、こうした休日の過ごし方をすることよくあります。ですが、そんな休日のあとにいつも感じるものが一つあります。それは、「疲れが取れておらず、ストレスも解消されていない」ということです。

休んでいるのに身体と心の疲れが抜けない…。そんな経験、皆さんにもありませんか？本書によれば、それは「休み方」に原因があるそうです。

では、どうすれば本当に心身が休まる休日を過ごせるのでしょうか？世界で活躍するビジネスパーソンたちは、休日をどのようにとらえ、どんな時間を過ごしているのか。その問いへの答えには、休日を充実させるだけでなく、人生をより豊かなものにするためのヒントがたくさん詰まっています。

図書室スタッフS

山村開発センター図書室所蔵